

事務局から

▼10月5日(日)、教育研究所創立30周年記念祝賀会を新潟東急インで開催しました。アトラクションとして、雅楽演奏を東京・長岡から演奏者にお出で頂いて実施しました。参加者数は25名ほどで小さな催しとなりましたが、生の演奏に、古代の雅な舞踊を思い浮かべながら聞き入りました。

また、この30周年を機会に、創立以来これまで研究所として取り組んで来た、干潟小学校統廃台問題の教育調査を始め、講演・教育セミナー・シンポジウム・学習会など他団体との共同のとり組みも含め、資料としてCD・Rに収めて会員の皆さんに配布することと致しました(今号に同封)。ご活用頂ければ幸いです。

▼文部科学省は、次年度から、道徳教育を初めて教科として学習指導要領に位置づけて実施することにしました。

個人の人格の完成をめざす教育から、国のめざす特定の価値観を押し付ける教育になる恐れがあります。次号は、この問題の抱える問題と本来のあり方を追求したいと思います。(内山)

編集後記

▽新自由主義の蔓延が、国民の生活を困難なものに変え、労働のあり方を一変させました。教育現場においても、非正規教職員増大に拍車がかかっています。そして、本誌にも掲載された方々の声にもあるように、非正規教職員が抱える問題の解消は、喫緊の課題となっています。

▽鈴木論文からは、近年の臨時教員増大の結果、義務教育で全ての教科が保障されなかつたり、臨時教職員の劣悪な雇用条件解消・改善には正規職員の連帯した運動が必要なることを指摘されました。

▽公務労働における雇用条件の改善の取組みや教職員組合の取組からは、問題解消に向けた地道な活動の様子について知ることができ、感銘を受けました。

▽大学生・院生、労働者が共同してシンポジウムを開催し、「社畜にならない生き方を探り、考え方のすりあわせをしていました。様々な人たちが連帯し交流することの大切さについて気付かされました。(小栗)▽十代の多感な年頃にすくれた教師にめぐり合い、知的関心を呼びおこされ、その後の

長い人生に少なからざる影響を及ぼすという話を聞く機会が最近は少なくなりました。「学力テスト」体制の弊害が言われている中で、教育のもつ力を信頼したいと思います。▽本誌が皆さんのお手許に届くころには衆議院選挙の真つ域中かも知れません。TPP、原発、憲法9条等々、いずれの世論調査でも過半数の国民が政府与党に反対しています。政府与党は追い込まれています。年末の大掃除で新年を展望の持てる年にして迎えたいものです。(大滝)

にいがたの教育情報 No. 116

2014年12月1日発行

編集・発行 にいがた県民教育研究所
発行人 小林 昭三
〒951-8116
新潟市中央区東中通1-86 山崎ビル
電話・FAX (025)228-2924
振替口座・00640-0-12332
Eメール kyoiku@triton.ocn.ne.jp
印刷所・神林印刷
TEL 0254-66-7959

本誌内容の無断転載を禁じます。